

令和2年12月28日
高松地方気象台・四国地方整備局
四国運輸局・西日本高速道路株式会社
本州四国連絡高速道路株式会社

「四国地域での大雪に関する緊急合同記者会見」の開催

～ 四国のみなさまに、より一層の警戒を呼びかけます ～

四国地域では、30日午後から31日にかけて山地を中心に広い範囲で大雪となる所がある見込みで、平地でも積雪となるおそれがあります。その後も寒気の流入は続き、山地を中心に雪が降り続くおそれがあると予測されています

高松地方気象台、四国地方整備局、四国運輸局、西日本高速道路株式会社及び本州四国連絡高速道路株式会社は、四国地域での大雪に関し、四国地域のみなさまに、より一層の警戒と不要不急の外出自粛などを呼びかけるため、下記のとおり合同の緊急記者会見を開催します

1. 日時 令和2年12月29日(火) 14:00～
 2. 場所 高松サンポート合同庁舎 北館 13階 災害対策室
- ※会場の関係上、会場への立ち入りは、報道機関のみとさせていただきます
※緊急合同記者会見は、四国地方整備局の公式 Youtube チャンネルに会見終了後にアップロードしますのでご覧ください

・この施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

【問い合わせ先】 (○：主な問い合わせ先)

(気象に関すること)

気象庁 高松地方気象台

○ 広域防災管理官 山野 浩一

TEL (087) 826-6123

(防災全般に関すること、取材申し込みに関すること)

国土交通省 四国地方整備局 防災室

総括防災調整官 福島 奨 (内線 2119)

○ 防災室長 江川 昌克 (内線 2151)

TEL (087) 811-8310 (直通)

(道路に関すること)

国土交通省 四国地方整備局 道路部

○ 道路管理課長 松崎 久記 (内線 4411)

道路管理課課長補佐 四宮 新治 (内線 4412)

TEL (087) 811-8325 (直通)

西日本高速道路株式会社 四国支社

○ 広報課 久部・太田

TEL (087) 825-1919 (マスコミ専用)

本州四国連絡高速道路株式会社

○ 広報CS推進課 岡田、鈴木

TEL (078) 291-1023 (マスコミ専用)

(公共交通に関すること)

国土交通省 四国運輸局 総務部

○ 安全防災・危機管理調整官 近藤 浩志

TEL (087) 811-9092 (直通)

四国地方整備局ホームページ <http://www.skr.mlit.go.jp/>

公式 Youtube チャンネル <https://www.youtube.com/channel/UCdjSqh8DrpinwnWHIwqtu8A>

【道路利用者等への呼びかけ】

- **四国地方では、30日午後から31日にかけて山地を中心に広い範囲で大雪となる所がある見込みで、平地でも積雪となるおそれがあります。積雪、低温による路面凍結や強い風雪などによる交通障害に注意・警戒してください。**
- **局地的な大雪により、道路において、視界不良による走行不能、積雪等による立ち往生が発生するおそれがあります。また、路面の凍結、集落の孤立、着雪による停電や倒木にも注意が必要です。**
- **過去には、平成26年12月4日から5日の大雪により、愛媛・徳島を結ぶ国道192号の県境付近において、立ち往生をきっかけに、約130台の車輛が立ち往生し身動きがとれなくなりました。**
- **普段雪が降らない地域においても、突然の大雪による立ち往生等に注意が必要です。**
- **やむを得ず運転する場合には、冬用タイヤやチェーン等を早めに装着して頂くとともに、お出かけ前には道路や気象に関する情報収集をお願いします。**

【1. 今後の気象の見通し】

令和2年12月30日から31日にかけての大雪

地域	12月30日		12月31日		
	昼	夜	朝	昼	夜
瀬戸内側	←————→				
太平洋側	←————→				

↔ 警戒すべき期間
 ↔ 注意・警戒すべき期間
 ↔ 注意すべき期間

【気象概況】

- 30日から1月1日頃にかけて強い冬型の気圧配置となり、四国地方には今季一番の寒気が流れ込む見込み。
- この影響により、30日午後から31日頃にかけて、四国地方では山地を中心に広い範囲で大雪となる所がある見込みで、平地でも積雪となるおそれあり。
- その後も寒気の流入は続き、山地を中心に雪が降り続くおそれがあるほか、積雪、低温による路面凍結や強い風雪などによる交通障害、着雪による倒木、電線等の断線に注意・警戒が必要。
- 30日12時から31日12時までの24時間降雪量
 香川県 5～10センチ
 徳島県 平地5～10センチ 山地10～20センチ
 愛媛県 平地5～10センチ 山地10～20センチ
 高知県 平地1～5センチ 山地10～20センチ

※ 大雪に関する気象情報については、気象庁HP
 (https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/108_index.html) をご覧ください。

※ 高松地方気象台提供

【2. 過去の大雪による雪害事例】

平成26年12月4日から平成26年12月5日にかけての大雪

【気象概況】

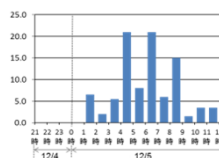
- 平成26年12月4日は、関東の東海上の低気圧が北東に進み、12月5日から6日にかけて、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。
- この影響で、愛媛・徳島を結ぶ国道192号の県境付近では、12月4日から5日にかけて大雪となった。

＜大雪のため、大規模な立ち往生が発生 約130台＞

- 愛媛・徳島を結ぶ国道192号の県境付近では、平成26年12月4日から5日にかけて、大雪となった。四国中央市川滝では、時間降雪量が20cm以上の局地的な大雪となり、約130台の大規模な立ち往生が発生した。



立ち往生の状況



降雪量解析値
 (四国中央市川滝)
 【一般財団法人 日本気象協会提供】

＜改定災害対策基本法を初適用し立ち往生車両等を移動＞

- 全国で初めて、改定災害対策基本法を適用して、除雪車両の集中投入により、約130台の立ち往生車両を約17時間で移動完了した。



立ち往生車両の移動

